

**メトコナゾールに係る食品健康影響評価に関する審議結果（案）
についての意見・情報の募集結果について**

1. 実施期間 平成26年9月10日～平成26年10月9日
2. 提出方法 インターネット、ファックス、郵送
3. 提出状況 1通
4. コメントの概要及びそれに対する食品安全委員会の回答

意見・情報の概要*	食品安全委員会の回答
<p>1. ADI 値の設定は妥当です。</p> <p>2. 当物質中、市場でよく使用する混合物の ADI 値が反映されたものなのかどうか、我々にわかり易い情報を開示してください。</p> <p>3. 今回の長期反復毒性において（ラット）LGL 白血病の発症頻度増加が比較的低用量から発症することが示されております。最近、人での白血病発症は極めて多く、その原因は誰も分からないのが現状です。当物質がその原因物質ではありませんが癌専門医師からの疫学的研究意見を拝聴し、当物質のみならず、類似農薬物質に対する対策（？）を政策として考慮していくのが、行政側の取り組みではないでしょうか。人への無差別曝露状況が全く曖昧で、おそらく無差別経口曝露が最も考えられるルートでしょう。</p> <p>4. とりわけ、幼児・子供における白血病発症原因が全く闇の中なのです。上記を含め対策ができるよう、願いますし</p>	<p>1. について 御意見ありがとうございました。</p> <p>2. について 食品安全委員会では、評価要請のあった物質について食品健康影響評価を行っており、製剤、混合物等に対する食品健康影響評価は行っておりません。</p> <p>3. 及び4. について ラットを用いた 2 年間発がん性試験の 1,000 ppm 投与群雌において認められた LGL 白血病の発生頻度の増加について、雄の発生頻度に対照群との差がないこと、当該試験実施施設の背景データの上限（28%）を僅かに上回るのみであり、公表文献における同系統ラットの背景データ（6～31%）の範囲内であることに加え、ラットを用いた 2 年間慢性毒性試験で本腫瘍又は前腫瘍病変の発生頻度の増加が認められなかったことから、偶発性的変化であると判断しました。</p> <p>従って、今回設定した ADI に基づく適切なリスク管理が実施されれば、本剤の食品を介した安全性は担保される</p>

<p>だいです。</p>	<p>と考えます。 いただいた御意見はリスク管理にも関係するものと考えられることから、リスク管理機関である厚生労働省及び農林水産省に伝えます。</p>
--------------	---

※頂いた意見・情報をそのまま掲載しています。